

災害廃棄物の受入れ基準に関する調査（素案）

資料3-2

No.	項目	回答方式	ご回答欄			
一般事項						
1	施設名称	記述式	(例)〇〇クリーンセンター、△△リサイクルプラザ			
2	施設の所管 または 事業者名	記述式	(例)□□市 または ◇◇産業 など			
3	所在地	記述式	(例)●●県◎◎市▲▲番地			
4	施設の種類	選択式	()	()	()	()
5	処理能力	記述式	(t/日)	←単位をリストから選択してください。		

災害廃棄物の受入支援の経験について										
6	受入支援を行った災害	選択式	該当するものに○を付けてください。（選択肢は平成29年7月九州北部豪雨以降の大規模災害。かつこ内は特に被害の大きい地域） () ①平成29年7月九州北部豪雨（福岡県朝倉市、東峰村など） () ②平成30年7月豪雨【西日本豪雨】 () ③平成30年台風第24号（鹿児島県喜界島） () ④平成30年北海道胆振東部地震 () ⑤令和元年8月の前線に伴う大雨（佐賀県武雄市、大町町など） () ⑥令和2年7月豪雨（熊本県人吉市、球磨村など） () ⑦その他 ()							
7	受入支援の内容	下記①に記載している災害廃棄物の種類ごとに、受入支援の経験がありましたら主な事例をそれぞれご回答ください。								
		①受け入れた災害廃棄物の種類	記述式	一廃：生活ごみ 産廃：可燃混合物	木くず	たたみ	がれき類	金属類	不燃混合物	その他 () () ()
		②受け入れた量（日最大）	記述式							
		③受け入れた量（期間全体）	記述式							
		④受入支援を行った期間（概ね）	記述式							
		⑤災害の名称	選択式							
		⑥受入元の自治体	記述式							
⑦処理単価の決め方	記述式									

災害廃棄物の受入基準について									
8	通常の処理対象物との受入基準の違い	選択式	通常時に受け入れている廃棄物と、災害廃棄物とで、受入条件は異なっていますか。 () 異なる () 通常の処理対象物と同じ						
↓以下No. 9~15の間は、災害廃棄物を受け入れる際の条件・基準をご回答ください。			一廃：生活ごみ 産廃：可燃混合物	木くず	たたみ	がれき類	金属類	不燃混合物	その他 () () ()
9	貴施設で受入れが可能な災害廃棄物の品目	選択式							
10	当該品目の形状の条件	記述式							
11	当該品目の寸法の条件	記述式							
12	当該品目の荷姿の条件	記述式							
13	搬入量の条件	記述式							
14	搬入車両の条件	記述式							
15	混合状態でも受入れ可能かどうか	選択式	() 可能	() 困難（事前に仕分けされていることが必要）					

その他の条件について						
16	受入支援を実現するために必要な条件	選択式	貴施設で災害廃棄物の受入支援を実現するために必要な条件がありましたらご回答ください。 () 県との協定が締結されていること () 市町村との協定が締結されていること () 受入側の指定の様式を用いること () その他 ()			
17	処理単価の決め方	記述式	今後、貴施設で災害廃棄物の受入支援を行う場合、処理単価の決め方を想定されていたらご回答ください。 ()			
18	その他の条件	記述式	その他、災害廃棄物の受入支援にあたり必要な条件がありましたらご回答ください。 ()			

調査へのご協力ありがとうございました。